

科技高 いきもの記

Vol.77 2023.5.1

2年1組 鞠子 禪

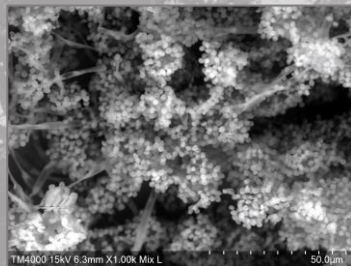
細かいとこまで見えちゃうよ 電子顕微鏡で見る世界

今回初めて書かせていただきますゼンです。鳥や菌類に興味があります。稚拙な文章かもしれませんが、温かい目で見ていただけると幸いです…。

入学してあれよあれよという間に2年生になってしまいました。部活（科学研究部）に励む中、私にはハマったものがあります。それは**電子顕微鏡**です。昨年の秋に生物室にレンタル電子顕微鏡が来て、**楽しすぎて毎日のように使いまくっていました**。皆さんは電子顕微鏡をご存知ですか？教科書にはもちろん、テレビやYouTubeにもそのモノクロ写真が映ることがあります（色がある写真もありますがあれは後付けの色です）。いきもの記vol.60では、リュウヘイ先生が電子顕微鏡で**ゲンバユムシ**のことを見ていました。翅の構造やドーム状の不思議な構造物についてとても綺麗に姿を映していました。電子顕微鏡は、小さな虫も見ることができるし、事前に準備をすれば**菌やウイルス**（今回使った電子顕微鏡よりもさらに性能の良い電子顕微鏡を使えばだけど。そのくらいにウイルスは小さすぎる！！）だって見るることができるすごい代物なんです！それに、今回借りた電子顕微鏡は卓上のもので、とても手軽に見ることができました。この手軽さによって、「**使いたい欲**」が湧いてしまいます。**湧きまくってしまいます！**とにかく色んなものを見まくったので、ここではその一部を紹介します。ありがたいことに、一昨年先輩が撮った電顕の写真もいただいたので、それも併せて紹介したいと思います！（今回のいきもの記に色が少ないのは許して…）

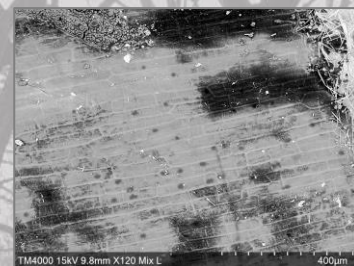
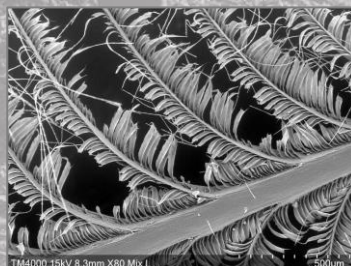
*フラクタル構造：一部分が全体と相似になっている構造のこと。有名なものだとリアス式海岸が挙げられる。

先輩が撮った電顕写真



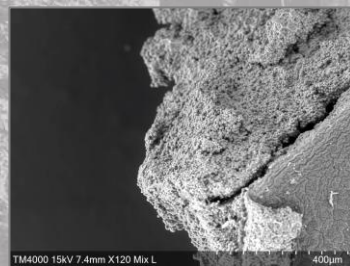
ボーベリア菌の胞子

昆虫に寄生し、体内で増殖し、殺してしまう菌。近くで見ると凹んだ球形の形をしている。

昆虫ゼリーに生えていたカビ
菌糸の先に胞子の塊がある。球根の茶色い皮
細胞壁や核がよく見える。右の針状の物体はシュウ酸カルシウム。蒟蒻芋によく含まれる。

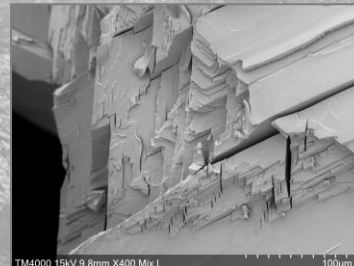
カラスの体羽（胴体に生えた羽）

大きい軸に小さい軸があり、フラクタル構造*に見える。



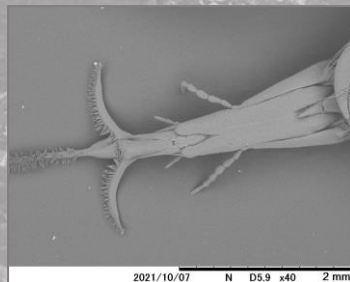
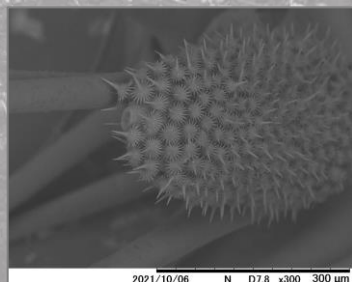
どんぐりの中身

でんぷんの球が大量にある。



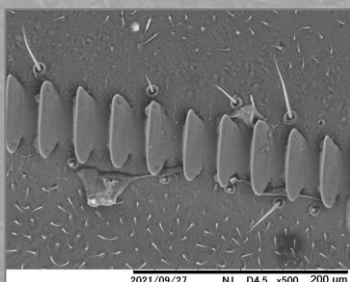
ビスマスチップを折った跡

生き物とは関係ないが、構造が見れてとても面白い。

ヒメハラナガツチバチの口を伸ばしたものだ
この口で花の蜜を食べる。

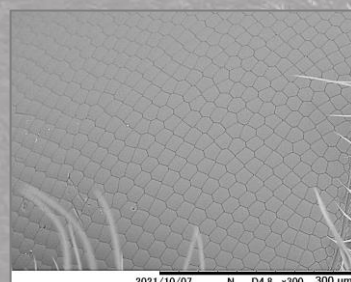
イラガ幼虫の毒針

言葉で形容し難い形をしている。不思議でゾワゾワする。



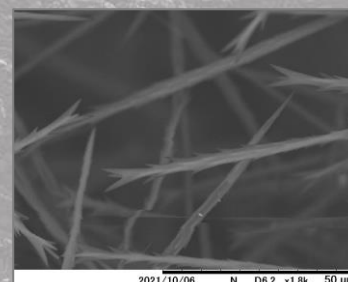
アオマツムシの羽音のもと

この器官を擦ることで美しい羽音を出すことができる。



ヒメハラナガツチバチの複眼

個眼がたくさん集まった眼。この眼のおかげで敵の認識が簡単。



チャドクガの毛(毒針)

刺されると皮膚炎を起こすことも。先端が3つに分かれているのになぜ刺さるのだろう？